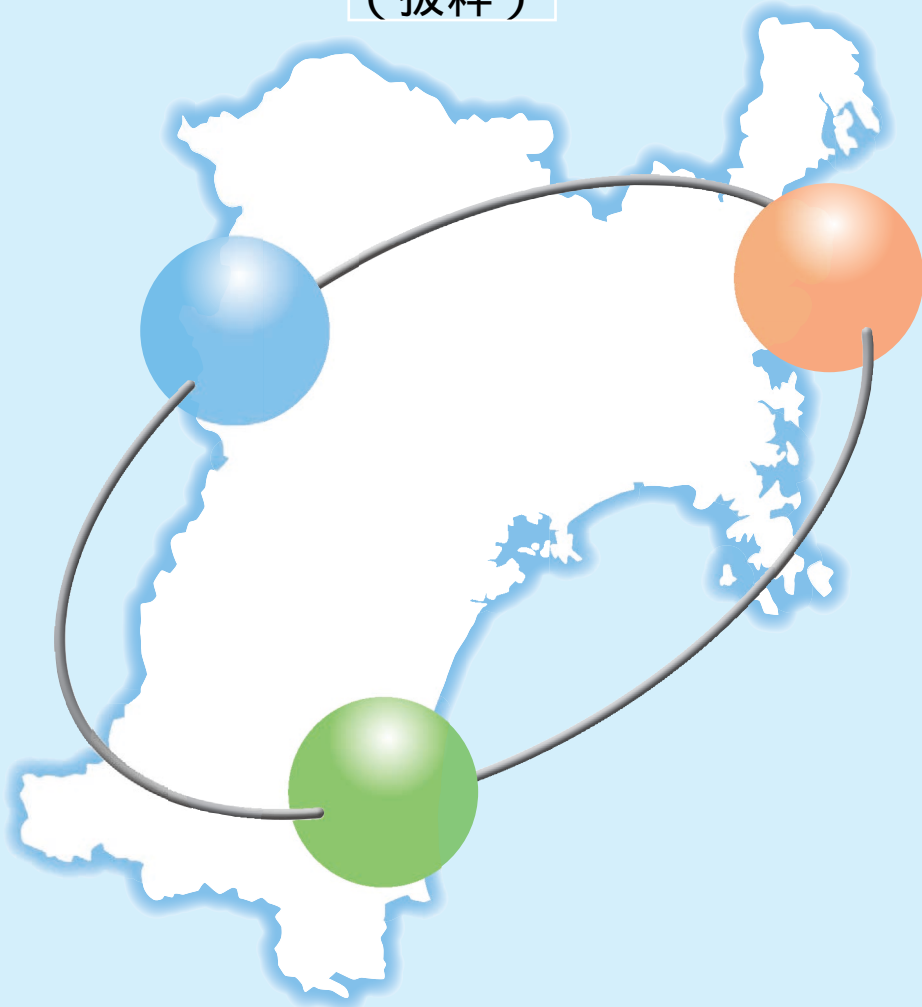




# 宮城の将来ビジョン

富県共創! 活力とやすらぎの邦づくり  
(抜粋)



2007年-2020年  
(2017年3月 改定)  
宮城県

# 第4章

## 宮城の未来をつくる33の取組

県政運営の理念である「富県共創！ 活力とやすらぎの邦づくり」を実現するため、3つの政策推進の基本方向に沿って、宮城の未来をつくる33の取組を行います。

### 富県宮城の実現 ～県内総生産10兆円への挑戦～

- ① 育成・誘致による県内製造業の集積促進
- ② 観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化
- ③ 地域経済を支える農林水産業の競争力強化
- ④ アジアに開かれた広域経済圏の形成
- ⑤ 産業競争力の強化に向けた条件整備

### 安心と活力に満ちた 地域社会づくり

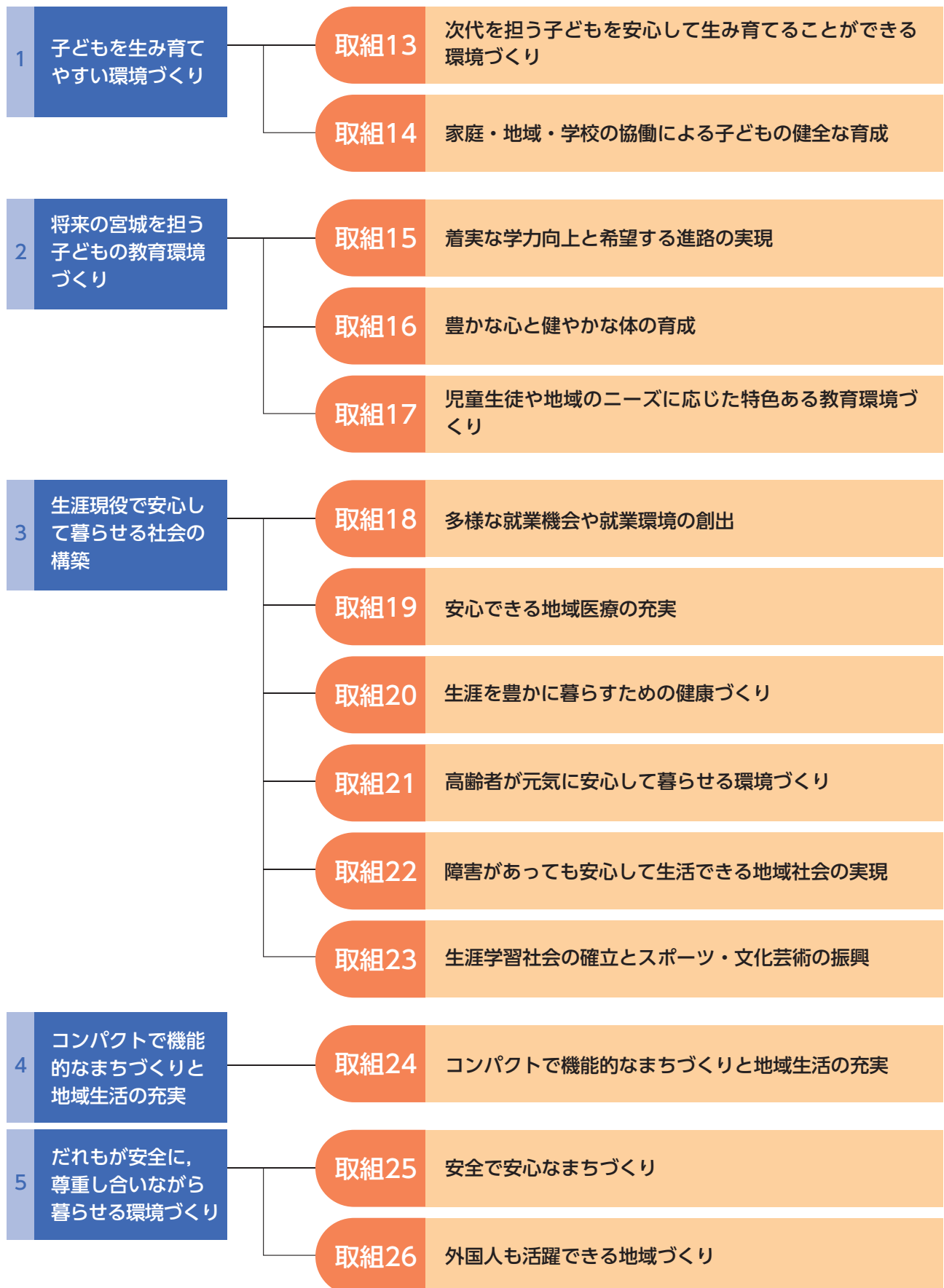
- ① 子どもを生き育てやすい環境づくり
- ② 将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり
- ③ 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築
- ④ コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実
- ⑤ だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり

富県共創！  
活力とやすらぎの邦づくり

### 人と自然が調和した 美しく安全な県土づくり

- ① 経済・社会の持続的発展と環境保全の両立
- ② 豊かな自然環境、生活環境の保全
- ③ 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成
- ④ 巨大地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり

## 第2節 安心と活力に満ちた地域社会づくり



## 2 将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり

### 取組 15

#### 着実な学力向上と希望する進路の実現

##### 【目指す宮城の姿】

- 児童生徒が自主的な学習習慣を身につけ、意欲的に学習に取り組んでいるとともに、授業が分かる児童生徒の割合が増え、全国でも上位に位置する確かな学力が定着しています。
- 児童生徒が目的意識を持って日々の学校生活や家庭生活を送り、進学や就職のために必要な能力や勤労観・職業観を身につけています。
- 高校生の大学等への現役進学達成率や就職決定率が全国平均を上回っています。
- 社会を生き抜くための力をはぐくむとともに、郷土を愛する心や社会に貢献する力を育成することにより、宮城の将来を担い、我が国や郷土の発展を支える人材が輩出され、多方面で活躍しています。



##### 【その実現のために県として行う取組の方向】

- ◇ 児童生徒の発達段階に応じた「志教育」の推進
- ◇ 幼児教育の充実に向けた「学ぶ土台づくり」の推進
- ◇ 家庭学習に関する啓発や家庭における学習環境等の整備など、児童生徒の学習習慣定着に向けた取組の推進
- ◇ 学校と家庭の連携による確かな学力の定着に向けた実効性のある取組の推進
- ◇ 児童生徒の授業理解に向けた教員の教科指導力向上や学習指導体制の工夫
- ◇ 主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点による授業改善の推進
- ◇ 幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続や、学びの連続性を踏まえた小学校・中学校・高校の連携強化
- ◇ 学力・学習状況調査などによる児童生徒の学力定着状況の把握・分析・公開
- ◇ 生徒の進路選択能力の育成に向けた指導体制の充実と教員の進路指導に関する能力・技能の向上
- ◇ 高校生一人ひとりが勤労観・職業観をはぐくみ、希望する進路が着実に実現できる進路指導の充実
- ◇ 産業界などとの連携による児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育の充実
- ◇ 地域の進学指導等の拠点となる高校での取組の充実とその成果の普及
- ◇ 県内の高校と大学間での高大連携の推進とその成果の普及
- ◇ 国際的に活躍できるグローバル・リーダー、社会の変化や産業の動向等に対応した専門的職業人などの育成
- ◇ 英語力の向上に向けた教育や国際的視野を広める体験活動等の充実
- ◇ 帰国・外国籍児童生徒等に対する学習面や学校生活面におけるきめ細かな支援
- ◇ 情報モラル教育を含む情報教育の充実や教科指導におけるICT活用などによるICT教育の推進
- ◇ 社会形成・社会参加に関する教育（シチズンシップ教育）や環境教育の推進
- ◇ 自国や郷土の歴史への関心を高め、理解を深める教育の推進

※アクティブ・ラーニング=教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。  
 ※情報モラル=情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方や態度のこと。情報社会を生きぬき、健全に発展させていく上で、全ての国民が身につけておくべき考え方や態度を指す。  
 ※シチズンシップ教育=市民としての資質・能力を育成するための教育。他人を尊重すること、個人の権利と責任、人種・文化の多様性の価値など、社会の中で円滑な人間関係を維持するために必要な能力を身に付けさせる。

## 取組 17

## 児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり

## 【目指す宮城の姿】

- 児童生徒や保護者・地域のニーズ，社会情勢に対応した多様な児童生徒の学習意欲に応える学校教育が着実に展開されています。
- それぞれの学校が保護者や地域住民などの理解や協力を得ながら，その地域の特色に応じた教育を主体的に行っています。
- 障害のある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行う特別支援教育が展開されており，子どもが意欲的に楽しく学んでいます。
- 多様な個性を尊重し，互いに認め合う態度がはぐくまれ，子どもたち一人ひとりの力を最大限に伸ばす教育が展開されています。
- 意欲と能力にあふれる教員が多様な教育課題に的確に対応して質の高い教育を提供しており，魅力あふれる学校づくりを積極的に進めています。
- 安全で快適な学習環境が整備され，児童生徒が安心して学校生活を送っています。



## 【その実現のために県として行う取組の方向】

- ◇ 少人数学級や少人数指導など，児童生徒の実情に応じたきめ細かな教育活動の充実
- ◇ 県立高校の再編整備や入学者選抜制度改善などの推進による，時代のニーズや教育環境の変化，生徒の多様化・個性化などに応じた魅力ある学校づくりの推進
- ◇ 学校の自主性・主体性を生かした学校運営の支援や学校評価の充実，地域の人材の積極的な活用やコミュニティ・スクールの促進などによる地域に開かれた魅力ある学校づくりの推進
- ◇ 障害の有無にかかわらず地域の小・中学校で共に学ぶことのできる学習システムづくりなどの特別支援教育の充実
- ◇ 一人ひとりの特性に応じた適切な配慮や支援など，多様な個性が生かされる教育の推進
- ◇ 優秀な教員の確保と，教員の資質能力の総合的な向上・学校活性化を図るための適切な人事評価や教員研修等の充実
- ◇ 学校の耐震化など，安全で快適な教育施設の整備の推進

※コミュニティ・スクール=学校と保護者や地域がともに知恵を出し合い，学校運営に意見を反映させることで，協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え，「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み。

